

Ikiiki
Maebashi
Jin



全国小学生かるた選手権大会で優勝
石田 優音さん・11歳
下細井町

みんなで楽しめるのが魅力

1月12日に、東京都内で行われた、小学生の百人一首の大会、「全国小学生かるた選手権大会」の5年生の部で優勝した。1対1のトーナメント方式で、5戦を勝ち上がってつかんだ栄冠だ。

石田さんは現在、桃木小の5年生。3年生の時に、百人一首の札を5色に分け、20枚の札で争う五色百人一首を知り、興味を持った。それから約1年半という短期間で頂点に上り詰めた。

「始めたときは、楽しいのと同時に、歌を覚えるのに必死でした。年齢や性別に関係なく、みんなのできるところが百人一首の魅力です」

大会での試合開始直前まで

は、緊張の連続。しかし、いざ試合となると、意外に落ち着けたという。そんな試合の中でも決勝は一番印象に残っているという。

「決勝は、わずか1枚差という僅差だったんです。最後までどちらが勝つか分かりませんでした。つらかったけど、勝った時はすごく嬉しかったですね」

普段は、勉強よりも友だちと遊んでいるほうが好きという普通の小学生。しかし、今回の栄誉は間違いなく日々の努力の結果だ。

これからもいろいろな大会に出て優勝したいという石田さん。努力に裏打ちされた石田さんの快進撃が始まる。



選挙の仕組みを学ぶ

1月23日、桃瀬小で小学生選挙体験教室を開催しました。6年生70人がクイズなどで選挙や投票の仕組みを学び、本物の投票用紙を使った模擬投票や開票作業を体験。児童らは候補者の主張に真剣に耳を傾け、投票箱へ投票し、選挙の大切さを学んでいました。



赤城の恵

ブランド



vol. 20



前橋みょうが生産組合のミョウガ

空っ風の吹く赤城山麓の前橋で、生産者が妥協を許さず、手間を惜しまず作った赤城の恵ブランドの認証品。今回は「前橋みょうが生産組合のミョウガ」を紹介しします。

■土を使わない養液栽培

水や肥料などをコンピュータ管理したビニールハウスで、土を使わず養液栽培で生産しています。このため、通常のミョウガに比べて出荷期間が長く、3月から12月ごろまで店頭で販売されます。



■市内6カ所で生産

亀里町や房丸町、西善町、五代町、上沖町、富田町の市内6カ所で栽培。残留農薬検査を年2回行うなど、安全で安心な生産を心掛けています。

■色合いの美しさが特長

同組合のミョウガは色合いが美しく、苦味が少ないのが特長。その品質は高く評価され、JA前橋市を通じて市内量販店で販売されるほか、半分以上を首都圏に出荷しています。

■健康・栄養

アルファピネンという香り成分に血行促進や発汗作用、食欲増進などの効果があるようです。料理によって切り方を変えれば薬味の効果が引き立ち、甘酢漬の紅色は良いアクセントに。

■生産者からのメッセージ

昨年2月の大雪で被害を受けた組合員もいましたが、再建が進みました。今後も前橋の特産品として、県内外へ売り出していきたいと思っています。

問い合わせは
同組合 ☎0960-180519488



初代県令を支えた妻をしのぶ

1月31日、前橋テルサで「梶取県令夫人・寿子さまをしのぶ」を開催しました。梶取家第5代当主の梶取能彦さんらによるシンポジウムでは、初代県令・梶取素彦を支えた妻・寿子の県内での活動の様子などを紹介。約400人の観客は熱心に耳を傾けていました。



環境ボランティアで地域貢献

2月3日、前橋塗装広告美術業組合は敷島公園で公衆トイレの清掃を実施。同組合に所属している組合員約20人が参加しました。壁の塗り替えには、消臭・抗菌効果を持つしゅくい塗料を使用。春の行楽シーズンを控え、トイレがきれいに生まれ変わりました。